校長室の窓から　323

081119 「すずがみ」作りにチャレンジ！



今日の午後から、KASASAGI という会社さんのコーディネートのもと、高岡のすず細工の職人さん数名が学校に来てくださいました。４ 年生が「すずがみ」作りにチャレンジするためです。

これは社会科で「郷土の伝統・文化と先人たち」の学習をしたことから始まった総合的な学習です。すずがみとは、「紙のように自由に曲げられるすずの板」のこと。すずはとても柔らかい金属なので、お皿や小鉢、箸置きやカード立て等、様々に形を変えることができます。

今日の体験学習では、すずの板を金づちでたたいて模様をつけたり、思い思いに曲げて形を作ったりする作業を行いました。



職人さんに「触ってみて」と言われ、初めて板にさわった子供たちは「やわらか～い！」と驚きの声を上げていました。こんなに柔らかい金属が存在することにまず驚いたようです。

また、すず製品はさびにくく、光沢もきれいで、冷たいものを冷たく保つことができます。すずの食器でお酒やお水を飲むと、不純物が浄化されてたいへん美味しいというのを聞いたことがあります。今日体験した子供たちは、できた製品を持ち帰ることができるそうなのでたいへんうらやましいです。



富山県には、優れた伝統工芸品がまだまだたくさんあります。漆器や挽物木地、和紙等、伝統工芸ならでは美しさにこれからもどんどん触れてほしいものです。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長　　堀　かおり